

## 平成 30 年度 香川大学 瀬戸内圏研究センター シンポジウム

[本城ゼネラルマネージャー]

ただ今より、2018年度 香川大学瀬戸内圏研究センターシンポジウムを開催したいと思います。お寒いところ、このシンポジウムに参加していただいて、ありがとうございます。私は瀬戸内圏研究センターのゼネラルマネージャーをしております本城でございます。私の方で司会進行と総合論議を担当させていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。それでは、最初に多田センター長より開会の挨拶をお願いしたいと思います。

[多田センター長]

皆様こんにちは。瀬戸内圏研究センター長の多田です。私達のセンターはシンポジウムを隔年で開催しております。また、学術講演会を毎年開催しております。ちょうど昨年11月の末に学術講演会を開催したところですが、学術講演会は私達が取り扱っている研究テーマに近いテーマの講師の先生をお呼びして、私達も勉強するとともに市民の皆様や学内の方々にもそういった話題に興味を持っていただくことを目的に毎年開催しております。一方、今日のシンポジウムは私達のセンターの研究成果を皆様にご披露することを目的に隔年で開催しており、今年度がちょうどシンポジウムを開く年に当たっております。

最近、学術講演会とシンポジウムの時には右の図を出しております。私達のセンターは3つの部門、海グループ、歴史・文化・観光グループ、地域医療グループで研究を進めており、この図には私達センターの目指すものが集約されております。

海グループでは何をしているかと言いますと、瀬戸内海には島がたくさんあって、ハマチに代表される魚類養殖、あるいはカキ養殖、ノリ養殖といった養殖業が非常に盛んな

場所です。また、イカナゴ、カタクチイワシ、シラスなどの漁業や底引きなどの漁業も盛ん

平成30年度 香川大学  
瀬戸内圏研究センターシンポジウム

香川大学瀬戸内圏研究センターは、地域・社会貢献を目的として、「障」、「人文・社会」、「医療」の3つの分野からなる「瀬戸内圏研究」を推進して参りました。  
本シンポジウムでは、瀬戸内圏研究の最新の成果を報告するとともに、この報告に基づき様々な立場から多様な意見を頂き、地域・社会において瀬戸内圏研究センターが果たすべき役割を、皆さまでともに考えて参りたいと思っております。

▶日時  
平成30年 2月7日(土)  
13:00~

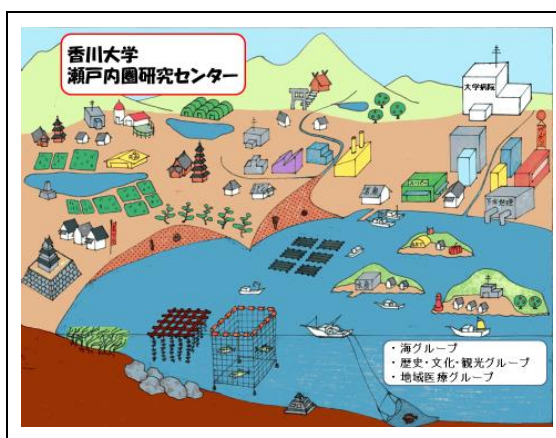
▶会場  
e-とびあ・かがわ  
(情報通信交流館)  
BBスクエア

参加費 無料

■主催  
香川大学瀬戸内圏研究センター

■お問い合わせ  
香川大学 学術・地域連携推進室 研究協力グループ  
TEL:087-832-1316  
FAX:087-832-1319  
E-mail:tikyosenm@jim.a.kagawa-u.ac.jp

香川大学瀬戸内圏研究センターのホームページでもご案内しております  
<https://www.kagawa-u.ac.jp/setouchi/>



な場所です。そこで、このような水産物が豊かになるように海洋環境を守って行こう、それを創造しようというような研究をずっと続けております。さらに、今日お話する内容ですが、この瀬戸内海には河口干潟、前浜干潟などの干潟や藻場といった所があり、このような浅場の機能についても研究を続けております。

歴史・文化・観光グループでは、瀬戸内の島々には島固有の文化、歴史があり、また瀬戸内圏にもたくさんの固有の歴史・文化が育まれてきており、このような文化や歴史を瀬戸内の美しい景観とともに観光資源として生かしましょうという研究を行っております。つい先日、四国新聞に載っていたのですけれども、ニューヨークタイムズの2019年に行くべき52か所ということで、上位10傑が発表されていて、瀬戸内の島々が7位にランキングされておりました。このように文化や歴史も景観に含め観光資源として活用し、地域興しをしようという仕事をしております。

地域医療グループは次のような研究を行っております。香川県はたくさん離島を抱えており、その離島は人口減少によって病院が閉鎖されたり、診療所の先生がいなくなったりしております。そこで、原先生が開発されたK-MIX+（かがわ遠隔医療ネットワーク：各病院の電子カルテをインターネットで結び、患者さんの医療情報を病院間で共有するしくみ）などを活用して、大学病院など陸側の病院が島民の健康を遠隔サポートするといったことを推進してきております。

今日、このような3つのグループのここ2年間の成果を皆様にご披露して、ご批判・ご意見をいただければと思っております。本日の瀬戸内圏研究センターシンポジウムは夕方まで少し長丁場にはなりますけれども、どうかよろしく願いいたします。